

教科名	家庭	科目名	家庭基礎 (2単位)
使用教科書	Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう (大修館書店)	副教材等	Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう 学習ノート (大修館書店) ニューライブラリー家庭科 (実教)

### 1 科目のねらい (目標)

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

### 2 科目・授業の内容と進め方

#### 1 人の一生と家族・家庭及び福祉

生活は、毎日毎日繰り返される小さな営みですが、その小さな営みのなかで起こる変化や問題によって、人生は小さく、ときに大きく変わっていくものです。高校生が高校生という時期に、将来の自分を想像しながら生活について学び、自分なりの生活観を確立し、人生のさまざまなできごとを力強く乗り越えていこうとする力を養います。

#### 2 生活の自立及び消費と環境

男女共同参画社会の一員として男女が協力して家庭を築くこと、ノーマライゼーションの意識をもって世代や国籍、障がいの有無を超えて共生すること、地球に生きる者として環境に配慮した生活を営むことなど、生活者として自立や共生ができる能力を身に付けます。

#### 3 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ

学習していることと生活とが結びついていることが実感できると、学びがさらに充実し、実習や実験、体験的な学習を通してこそ、生活の課題を積極的に改善・充実できる知識や技術が身に付いていきます。教科書に収録された小さな課題に挑戦し、問題解決能力を養い、その力を家庭で、学校で、地域で、社会で発揮しようとする力を身に付けます。

### 3 学習の方法

- ・理論や演習が主となる座学での学習に、実習や体験学習を取り入れ20人での分割授業で学習します。
- ・授業のポイントは学習ノートに整理する。
- ・ワークプリントや実習作品の成果、提出期限、実習に取り組む態度や製作過程、仲間とのチームワークなども大切な学習課題です。

### 4 課題・補習について

- ・学習ノートやプリントの点検を行います。
- ・実習については、作品の成果だけでなく、実習中の態度も大切です。

### 5 観点別学習状況の評価ポイント

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野における内容やそれについての背景を理解している。</li> <li>・実習ではこれからの人生において生きる力となる技術を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識を習得した上で、達成するために高校生である自分に何が足りないのかを考え、これからとるべき行動に思いを巡らせることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・單元ごとの感想、まとめを書き、振り返ろうとしている。</li> <li>・18歳の誕生日で成人することを踏まえて言動を考えようとする。</li> </ul>

ビジネス科 1年B・C・D組      ビジネス情報科 2年A組

教科名	家庭	科目名	家庭基礎(2単位)
-----	----	-----	-----------

6 年間の学習計画

月	単元名	学習の内容	評価方法 (課題等)
4	第1章 生活のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ライフステージの特徴と発達課題について理解する。</li> <li>青年期における自立について考えを持つ。</li> </ul>	授業態度 学習ノート 提出物
5	第2章 青年期の課題と自立		
6	第3章 家族・家庭生活のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の役割について知り、家事労働と職業労働について理解する。</li> <li>家族に関係する法律とその変遷を知る。</li> </ul>	前期中間 考査
7	第10章 衣生活のマネジメント		
8	第7章 持続可能な社会をつくる		
9	最終章 生活をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の夢や希望を実現させるためには、どのような準備が必要か考える。</li> <li>ホームプロジェクトの進め方が理解できる。</li> </ul>	前期期末 考査
10	第9章 食生活のマネジメント		
11	第8章 経済生活のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族の食生活の実態を把握し、課題と対策を考える。</li> <li>栄養素とそれを多く含む食品に関する基本的な知識を学習する。</li> <li>自分や家族の日常的な食事の献立作成や調理法、食材の選択を工夫する。</li> <li>和洋中華の調理に関する基本的知識と技術を身に付ける。</li> <li>食品の調理性を理解し、実習を通じて、日常の食生活に応用する技術と実践力を身に付ける。</li> </ul>	後期中間 考査
12			
1	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭経済の仕組みを知り、経済設計の必要性を知る。</li> </ul>	
2	第5章 高齢期の生活のマネジメント		
	第6章 共生社会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解する。</li> <li>子どもの発達のために親や家族及び地域社会の果たす役割について学習する。</li> </ul>	
	第11章 住生活のマネジメント		
	学習のまとめと評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齡社会での自立した生き方やそれを支える家族や社会のあり方を学習する。</li> <li>ライフサイクルにそった社会福祉制度の仕組みや、ボランティア活動の必要性を理解する。</li> <li>気候風土と住まいの関係について知る。</li> <li>ライフステージと住空間について学び、住まい方の工夫が分かる。</li> </ul>	学年末 考査
		<ul style="list-style-type: none"> <li>一年間の学習を振り返る。</li> </ul>	